

G I G Aスクール構想で使用する次期端末について

1 経緯

港区では、G I G Aスクール構想の実現に向け、令和2年10月に全ての児童・生徒に対し約17,000台のタブレット端末(iPad)を配備しました。令和5年11月に国は「国策であるG I G Aスクール構想の第2期を見据え、予備機を含む1人1台端末の計画的な更新を行う」と発表しました。港区においても令和7年9月に現行の端末の賃貸借期限を迎えることから、次期G I G Aスクール構想において学校現場にとって最適な次期端末を選定する必要があります。

2 配備する端末の選定について

国から示された端末は、Microsoft Windows端末、Google Chromebook、iPadの3つの端末です。

アンケート及び各校ICT担当の研修会における3つの端末に対する教員の意見や教育情報参事官を始めとしたG I G Aスクールタスクフォースによる検討の結果、現行端末であるiPadが他の端末よりも直感的で児童・生徒にとって使いやすく、引き続き使用することが望ましいとなりました。

このことを踏まえて、令和6年6月14日に、区立学校等の適切かつ効果的な教育情報化の推進に関する検討を行う「学校情報化推進会議」を開催し、次期端末を審議した結果、港区では引き続きiPadを使用する方針に決定しました。

次期iPadについては、これまでよりも利便性を高めるため、校庭や屋上等のような場所でも高速通信が可能なLTE端末の導入をすることを検討します。

3 今後のスケジュール（予定）

令和7年	4月	契約手続
	10月	次期端末の使用開始